平成 27 年度第 4 回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 28 年 3 月 19 日（土）14：00～16：30

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員 22 名中 17 名出席、ガイドヘルパー1 名
千葉市保健福祉局地域福祉課 2 名、地域包括ケア推進課 1 名、事務局 7 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 2 人、社協緑区事務所 4 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 平成 29 年度千葉市あんしんケアセンター増設に係る担当圏域の設定について
 - (2) 平成 27 年度小委員会活動報告
 - ・高齢者と児童生徒の交流促進小委員会
 - ・障害者小委員会
 - (3) 平成 27 年度 千葉市身体障害者連合会活動報告
- 3 議題
 - (1) 平成 27 年度 緑区支え合いのまち推進計画 推進結果について
 - (2) 広報誌「みどりのきずな第 28 号」の承認について
- 4 推進協ミニ講座 第 4 回 認知症サポーター養成講座
- 5 連絡事項
- 6 閉会

【議事及び質疑要旨】

2 報告事項

主な発言内容は以下のとおり。

- (1) 平成 29 年度千葉市あんしんケアセンター増設に係る担当圏域の設定について
地域包括ケア推進課が説明
質問なし
- (2) 平成 27 年度小委員会活動報告
 - ・高齢者と児童生徒の交流促進小委員会
烏山委員が説明
3 月 18 日に 1 年の報告会を行った。今年で 5 年経過した。3 つの小中学校、6 つの施設で交流を進めている。各交流は資料に示したとおり。
質問なし

- ・ 障害者小委員会
廣田委員が説明

12月の第3回推進協で障害に関するミニ講座を実施した。1月末にミニ講座の反省会として当日の講師と岡本委員長、大槻委員も加わり小委員会を実施した。来年度以降も障害についての問題を考えていきたい。推進協の中には地域内のリーダーが多くいるので障害者の生活、災害時への取り組みを考えていきたい。

質問なし

(3) 平成27年度 千葉市身体障害者連合会活動報告

廣田委員が説明

10月7日から9日にかけて障害者作品展を実施した。また第17回障害者福祉大会を12月5日にハーモニープラザで実施した。千葉市のホームページで当日の様子は確認できる。福祉大会では心の輪を広げる体験作文を市内の児童生徒から募集した。また障害者週間ポスターの優秀作品を表彰した。今年の小学生の部は、目の不自由な人に初めて声をかけてみたという内容だった。中学生の部は小学生の時に同じ子どもルームに通っていた自閉症の子との交流を綴ったものだった。当日は受賞した子ども達が作文を朗読し大変好評である。

体験実践発表ではオストメイトの日常生活を発表した。また障害当事者として小中学生に出前講座している。椎名小学校と越智小学校で実施したが、生徒から感想をメールでもらいとても嬉しかった。学校訪問についてはハーモニープラザ内の身体障害者連合会事務所に連絡いただければ対応したい。

質問なし

議題(1) 平成27年度 緑区支え合いのまち推進計画 進捗状況について

主な発言内容は以下のとおり。

各地区部会エリアにおける計画進捗状況についての説明

(誉田地区部会・鳥山委員) 見守り活動を重点にしている。現在鎌取地区で高齢者の見守り活動を実施している。毎年1か所ずつ誉田地区内で増やしていく計画でいる。誉田地区は古い住人と新興住宅地と高層マンションから成り立っている。いきなり見守り活動といっても難しいので鎌取町ではまずアンケートを実施した。同様の流れで辺田地区でもアンケートを実施し見守り希望者を募り4月立ち上げする方向で動いている。ただ町内自治会組織が大きいと一気に設置していくのは難しいところもある。年間1か所ずつ立ち上げていく。誉田地区部会としては平成28年度に見守り活動を支援していく委員会を設置し進めていく予定でいる。大槻委員からマンションでの見守り活動をしているという情報を聞いたので3月

- 26日の会議で詳細を聞こうと思っている。
- (大槻委員) 団地やマンションでの集合住宅で高齢者だけの見守りではなく、子どもや障害者の見守りについてアンケートをとった。
- (椎名地区部会・本田委員) 地域と学校との交流については6項目の事業を計画し実施した。全て計画通りできたのでA評価を出した。見守り活動については、C評価にした。理由としては農村地域で日常的な声掛けが出来ているため、見守り活動の組織化まで進まなかった。廣田委員の福祉教育は子ども達の心が成長した。また古市場団地では小学生に見守り活動の会議に出てもらった。
- (岡本委員長) 児童生徒のボランティア活動を推進しようとしている。今年度は2回会議を実施した。来年度は自分たちで出来るボランティアを考えてもらおうと思っている。
- (中村和委員) 視覚障害と視的障害はどちらの言葉が適切か。
- (廣田委員) 昔は視力障害といったが、最近は視覚障害という。
- (鳥山委員) 太巻き寿司はどのように行っているのか。
- (本田委員) 小学校5年生を対象に食育を通じて太巻きに挑戦している。JA女性部や日赤から手伝ってもらっている。20メートルの太巻きを巻いている。
- (鳥山委員) ふれあい食事会については誉田地区で80食の配食形式で実施している。椎名地区は会食形式で行っているのか。
- (岡本委員長) 20人前後で毎回交流している。
- (本田委員) 椎名公民館で実施している。時には椎名小学校の子ども達も参加している。
- (大槻委員) 椎名では地区部会を中心に活動しているのか。
- (岡本委員長) 地区部会が中心になって各団体に声掛けしている。
- (土気地区部会・峰村委員) 27年度の見守り活動は2地域で実施している。もう1つ増やしたかったが実施できなかったのがC評価にした。46町内自治会中、2町内で実施している。1町内自治会長が検討したいとの声があがり地区部会長が説明に訪問したが、自治会内の近所での見守りが出来ているので組織化は先になった。引き続きの検討になった。土気地区部会としては、引き続き見守り活動の推進を各団体に声をかけ、サロン活動も広めながら見守り活動を推進したい。ふくし47号ではサロンの一覧を出してサロン参加への呼びかけをした。
- (岡本委員長) 2つの町内自治会はどこか、また検討中はどこ町内自治会か。
- (峰村委員) あすみが丘第1と大椎台、検討中は高津戸である。

(廣田委員)

大椎台の高齢化率は4割を超えている。800戸の戸建て住宅群である。昔は日生団地といった。あすみが丘第1は駅の近くで戸建てエリアである。高津戸も40年前に開発された住宅地域である。

(おゆみ野地区部会・中村委員)

重点項目としてコミュニケーションの推進に取り組んでいる。高齢者の閉じこもりを対象に問題をしばって検討した。ふれあい散歩にしている。平成25年度から実施していたが、参加者は徐々に増えてきている。3月は65名の参加があった。コースも2つ設定している。会場や広報で検討の余地があるので評価はBにした。閉じこもり高齢者を外に出すにはどのように考えていくべきか検討していく必要を感じている。

若いお母さん方への施策も必要であるが、担い手数の関係もあり現在は高齢者施策を重点にしている。

(松戸副委員長)

第1日曜日に65町内自治会の会議をしている。あんしんケアセンター長にも参加してもらっている。シニアリーダー体操が始まっている。みずきかつら街で実施している。学校施設課で空き教室を活用する動きが始まっているので4月以降に高齢者を対象にした活動を学校で始めたいと思っている。その際はあんしんケアセンターに協力してもらいたい。

(岡本委員長)

各団体からの評価が出揃ったが、同じB評価でも評価中身は様々であると感じた。

(事務局)

千葉市では高齢化が進んでいるので見守りに力を入れている。地域の見守り活動はありがたいと感じている。今後も協力いただきたい。子ども達への施策についても協力していただきたい。

議題(2) 広報誌の承認について

主な発言内容は以下のとおり。

(中村和委員)

広報部会で作成した「みどりのきずな」28号の最終案を提示したい。本日承認してもらえれば3月末に3千部発行したい。4月から5月上旬にお手元に届くと思う。誤字脱字等の指摘事項あれば3月25日までに事務局まで連絡してほしい。

推進協ミニ講座

第4回 認知症サポーター養成講座

講師：烏山委員

主な発言内容は以下のとおり。

(中村和委員)

要介護認定を受けていなく、ちょっと危ういなと思う人と会った時の対応はどのようにすればいいか。

(烏山委員)

基本的には千葉市あんしんケアセンターに相談するようにアドバイスしてもらいたい。本人の了解があれば訪問することも出来る。必要があれば介護保険の利用を案内することもできる。本人の了解を得ることが出来ない場合は、地域をまわっていると話しして対応することもできる。

委員長が閉会を宣し、第4回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。